

人を集める

救急カートを用意する

初期対応

気道確保: 100% 酸素で換気
けいれん発作の治療:
ミダゾラム 5-10mg 静注
場合によっては人工心肺の使用を考慮

禁止事項:
循環動態不安定な患者では
プロポフォールは避ける

不整脈・循環不全への対応

BLS/ACLS

注意: エピネフリンの投与量は 1µg/kg未満
(体重50kgで0.05mL未満)
1/20Aしか使用できない

禁止薬剤:
バゾプレシン、Ca拮抗薬
β遮断薬、キシロカイン

20%脂肪乳剤による治療

- ① 20%イントラリポス200mLのボトルをセットし点滴を開始する
三方活栓にシリンジを取り付け、ポンピングの要領で1.5mL/kgを
1分以上かけてポーラス注入する
(体重50kgで75mL、体重が多くても最大量は100mL)
- ② 0.25mL/kg/minで持続点滴
(体重50kgで750mL/h、通常の点滴セットで、125滴/分)
- ③ イントラリポスの常備は1本なので、追加のイントラリポスを数本用意
- ④ 循環虚脱が続けば、5分おきに2回まで上記のポーラス注入を繰り返す
(合計3回)
- ⑤ 低血圧が継続すれば、点滴速度を2倍(0.5mL/kg/min)にする
(体重50kgで1500mL/h、通常の点滴セットで、250滴/分)
- ⑥ 循環の安定後も少なくとも10分間は点滴を続ける
※イントラリポスの投与量の上限量は、最初の30分で10mL/kg
(体重50kgで500mL)